

## 水産庁のQ&Aで示された「はしご等」に関する補足事項（道作成）

公益社団法人北海道海難防止・水難救済センターとの協議結果に基づき、水産庁のQ&Aで示された「はしご等」の規格及び素材について次のとおり補足しますので、参考としてください。

※ 水産庁のQ&Aで示された「落水者が自力で船上へ揚がる足がかりとすることができるもの」であれば、次の規格及び素材に限定するものではありません。

### 1 はしご等の規格

はしごの部位	推奨規格	備考
幅	約 40cm	・幅がありすぎると真ん中がしなりやすく折れやすい ・大きすぎると持ち運びが不便
ステップの間隔	約 20cm	・衣服が水を含み重くなると、間隔が大きいとのぼれない ・長靴を履いている場合、中に水が入り大変重くなるため脱いだ方がよい
ステップの太さ	直径約 35mm	この太さが握り易い
水面以下の長さ	約 50cm	
全体の長さ	5 トン未満船： 1650mm で間に合う その他：船型に合わせる	

### 2 はしご等の素材

水産庁のQ&Aでは、はしご等の種類として、アルミ製の金属製のはしご、縄はしご等があげられていますが、このほかにステンレス製やゴム製のものも想定されます。

また、ロープを使用する場合、Q&Aのとおりアイ付きのもののほか、写真のようにロープとパイプを組み合わせたものも想定されますので、参考としてください。

